



2012年7月23日 第803号



発行 関西学院大学新聞編集部
〒662-0891
西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
HP：http://www.justmystage.com/home/kgpress/
E-mail：kgpress2009@yahoo.co.jp

「邁進」する関学

史上初4連覇

第35回総合関関戦は18勝14敗1分で関学が勝利し、通算成績18勝16敗となり、本学は史上初の4連覇を達成した。関学が「邁進」する姿を誰よりも強く応援していた、体育会本部長の若佐谷薫(経・4)さんに取材した。

第35回総合関関戦で、本年はアウェーの地での試合、喫するといった波乱もあった。昨年の関関戦で初の勝利を挙げ、6年ぶりに収めた勝利や、剣道部が激戦を制して決着

Table with columns for '関学' (Kansai Gakuin) and '関大' (Kansai University) and rows for various sports like '前哨戦', '2日目', '3日目', '1日目'.

*ラクロス部の試合結果は、関大側が部でないため勝敗に含まれない。
*合気道は流派が異なるため交流戦として行われた。
*庭球部、準硬式野球部、ソフトテニス部は雨天のため中止。



第35回総合関関戦は、本学が史上初の4連覇を達成した。関学が「邁進」する姿を誰よりも強く応援していた、体育会本部長の若佐谷薫(経・4)さんに取材した。

第35回総合関関戦は、本学念願の4連覇の快挙で幕を下ろした。昨年は史上初の4連覇を成し遂げた関学。来年は両校共に成し遂げたことのない5連覇を果たすかどうか。これからは史上初の連続である。第36回総合関関戦に向けて、関学全体が邁進し続ける姿に期待が高まる。



新聞総部ホームページ
部員のコラム、バックナンバーなどを掲載！
ぜひアクセスを!!
HP: http://www.justmystage.com/home/kgpress/

今回の関関戦では、アメリカンフットボール部が敗北を喫するといった波乱もあった。しかし、スケート部の6年ぶりに収めた勝利や、剣道部が激戦を制して決着

「関学史上初の4連覇を成し遂げることができて本当にうれしく思う」と語るのは、体育会本部長を務める若佐谷薫(経・4)さんだ。「正直ほっとした気持ちもある。連勝を途切れさせずに後輩につなげることができて良かった。勝利を期待されていた部のまさかの敗北であったり、閉会式の20分前まで結果が予想できなかったりと、最後まで白熱した戦いを繰り広げた。関関戦の副運営委員長を務めた若佐谷さんにとつ

学生に向けてメッセージを語った。「関関戦を起爆剤としたいし、してほしい。関関戦で終わるわけではなく、ここからメインにリーグに差し掛かる部は多い。この勝利をもとに、驕るのではなく、気を引き締め直すことが大事。まだまだ良い部分があれば改善点もある。関学全体で一致団結し、どこまでも邁進していききたい。」

中央講堂は米国出身の建築家W・M・ヴォーリス(1880-1964年)の代表作として知られている。ヴォーリスは時計台を中心とするキャンパス空間を設計し、中央講堂は1929年(昭和4年)に中央芝生の南側に建てられた。

中央講堂は、文学部や経済学部の校舎などと同様に、赤い瓦屋根とクワレている。建て替え後は、機能設備をより充実させ、学生が利用できるスペースの拡大も検討されるという。

解体工事は2013年の2月から進められる予定であり、創立125周年となる2014年夏に完成する予定である。今年末の大学ニュースに改めて詳細が伝えられるという。

中央講堂建て替え W・M・ヴォーリスの代表作
「ケセラセラ」
扉の一言
ドリス・デイ

125周年記念事業の一環
●2,3面 KGニュース
●4,5面 関関戦特集
●6面 連載記事
●7面 K.G. studio
●8面 スマートフォン特集
本学の創立125周年記念事業の一環として、中央講堂の建て替えが行われることが決定した。中央講堂は米国出身の建築家W・M・ヴォーリス(1880-1964年)の代表作として知られている。ヴォーリスは時計台を中心とするキャンパス空間を設計し、中央講堂は1929年(昭和4年)に中央芝生の南側に建てられた。中央講堂は、文学部や経済学部の校舎などと同様に、赤い瓦屋根とクワレている。建て替え後は、機能設備をより充実させ、学生が利用できるスペースの拡大も検討されるという。

近頃、グリーやモバゲーなどが提供するソーシャルゲームについてマスコミがよく取り上げている。なかでもコンプリートガチャ、省略するとコンプガチャと呼ばれるゲームの種類について話題がよく出ている。コンプガチャとは、ある特定のカードを集めるとゲーム上で希少アイテムが手に入るシステムのことだ。使用する際にはお金をかける必要があり、高額請求が利用者のなかでは後者が多いため、多額の苦情が消費者庁のもとへと寄せられた。むしろ、安易にお金をかけてしまう利用者にも責任がある。しかし、限度を超えている企業のやり方には嫌悪を感じる。一番の問題は単なるパチンコゲームから一種の詐欺へと転じつつあるというところだ。本来我々は、何か物を買うときは財布からお金を取り出す。だが、グリーなどの有料ソーシャルゲーム(無料と一応うたっているらしいが)は、携帯の使用料と一緒に、携帯の請求書と一緒に、目に見えないパチンコゲームの取り引きをしている。架空の世界で企業は人間の心理的作用を利用して、その作用を危険にさらしている。日本ではIT社会と言われているが、便利になった反面、パチンコゲームの恐怖を我々に常にも心に留めておかなければならない。情報が溢れる現代では、知識を身につけておくことがIT社会において通ずる一つの策となるだろう。

国ごとの事業展開

タカラトミー 佐藤慶太氏講演会

6月11日に図書館ホールでタカラトミー副社長佐藤慶太氏による講演会が行われた。演題は「グローバル経済下における玩具メーカーの戦略と課題」である。講演会は3部構成で行われた。

仕事はRPG

第1部は佐藤氏の自己紹介から始まり、事業展開の説明である。「仕事ほど楽しいものはない。大きなRPGに自分に身を置いて成功させる、勝つ、自己実現だ」と語った。

仕事はRPG

ニメを共同で制作し、アニメと同時に玩具を売り出した。玩具で中国の子どもに遊んでもらい、自社ブランドの思い出を持ってもらう作戦だ。子どもが大人になった時、自分または自分ができた「活動」を振り返った。悪天候などのコンディションの悪さにも関わらず、例年通り多数の学生たちが訪れたという。また、「注射に対して抵抗がある人も多い。ただ少し立ち寄ってくれるだけでもいいので、ぜひたくさんの方に今後来てほしい」と訴えた。

身近な手助け 夏の献血週間

6月18日から22日にかけて、宗教総部が献血を募った。日本赤十字と提携しての活動だ。本学では、毎年4回行われている。足りない血液型を知らせる旗を見た人も多かった。

宗教総部の献血の代表である中村祥子さん(国3)に話を聞いた。「火曜日の活動が中止になるなどトラブルもあったが、無事行う



献血実行委員長 中村祥子さん

献血以外にも、社会学部のチャペルでの講話を行うなど、宗教総部は積極的に活動を続けている。新入部員も随時募集中だ。献血は短時間でできる上に、何よりも人の役に立っている素晴らしい行為だ。急に大きなことはできないかもしれないが、宗教総部に入っただけでも、ひとりの方法ではないか。

インドへの理解

「人間の安全保障研修」写真展

6月1日から14日まで本学図書館エントランスホールにて、インド「人間の安全保障研修」写真展が行われた。この写真は法水戸研究室主催・法学部および法政学会・日本学生支援機構からの助成を受け実施された「インドにおける「人間の安全保障」に関する体験学習・研究交流セミナー」の参加者が撮影した写真をもとに、展示したのである。

「人間の安全保障」は、イブや殺される「恐怖からの自由」。餓死せずに人間として最低限の生活を確保する「貧困からの自由」。そして環境も含め「持続的成長」という3つの核から成っている。

この写真展では街並みや風景、人の様子、実際に現地に行かないとわからない写真が展示されている。インドが今実際に直面している

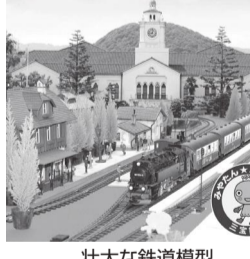
地域を繋ぐ鉄道模型

上ヶ原レールフェア

7月25日から27日の間、関西学院会館で上ヶ原レールフェアが行われる。日本では珍しい大型鉄道模型を走らせるイベントで、主催の関西学院会館運営に協力している同窓生の芝池巖さん

に話を聞いた。鉄道模型は一般的にNゲージという小型の鉄道模型が主流だが、本イベントではO・1・Gゲージというスケールのかなり大きな模型を合計250両展示する。また、車両の運転体験もできるという。近隣住民だけでなく滋賀や京都からのお客さんもお子

どもから鉄道マニアまで楽しめる人気のイベントだ。芝池さんは「学生時代に鉄道研究会の会長を務めていた。アステ川西で鉄道の



壮大な鉄道模型

関学生としての意識

マナー向上キャンペーン

去年の9月から本学では喫煙スペースを設け、分煙する。しかし、規定外の場所

を喫煙する人も見られ、吸殻が散らばり、効果はあまり表れていない。マナーの悪さで景観が損なわれているのが現状だ。商学部近くの英霊碑では戦争の犠牲者の魂を祭っている

。だが、そこにも煙草の吸殻やゴミの散乱が見られる。景観が損なわれるだけではない。受動喫煙による健康への被害も懸念されている。

今まで数人の学生が体調不良を訴えたそう。さらに生徒だけでなく、校内にいる学外からの人にも迷惑がかかる可能性がある。学生課ではマナー向上キャンペーンを年4回実施された。キャラバンカーの

薬物を知る

薬物乱用防止キャンペーン

本学は6月26日の国際麻薬乱用撲滅デーに合わせ、薬物乱用防止キャンペーンを行った。

キャンペーンの内容として薬物啓発についてのキャラバンカーが6月20日に三田キャンパスで、6月29日に上ヶ原キャンパスで設置された。キャラバンカーの中には大麻の種や薬物乱用者の写真、薬物についてのクイズができるタッチパネルなどが展示された。また、本学静修寮の学生がキャンパス内で啓発のビラを配る活動も行われた。

本学学生課の橋本さんは「他大学で薬物使用の逮捕者が出たこともあり、数年前から本学でも薬物乱用防止に取り組んでいる。薬物には依存性もあり、学生にはイメージとして薬物の恐ろしさを持つておいてもらいたい」と話す。



薬物乱用防止キャラバンカー

ご意見・ご感想をお待ちしております。
取材依頼・広告依頼も募集中です。

関西学院大学新聞総部

○西宮上ヶ原キャンパス新学生会館3階
○TEL(0798)51-1181 ○MAIL kgpress2009@yahoo.co.jp

お問い合わせ

新入生の個性が結集

絵画部弦月会新人展

6月18日から22日に、絵画部弦月会による新人展が新学生会館2階の会議室5で行われた。会場には絵画部弦月会の新人18名による作品が堂々と並んだ。今回の新人展について、部長の河内麻子さん(社3)に話を聞いた。新人展について、「新入生にとって記念すべき初めての展示だ」と話した。



新入生の絵が並んだ

初めて描いた絵が並ぶ

絵画部弦月会は、普段アトリエで活動を行っている。今後の目標について、河内さんは「今回の新人展で、テーマもない中で自分たちが何を描くかを自身で決めたように、自分をもっと出していくことが必要だ」と話した。自分の作品をよくするために、まずは展示会を開催する。ジャ

論説 日進月歩

『育児政策に迫られる転換』

日本では近年、少子化問題が叫ばれている。今年4月1日総務省統計局は31年連続で子どもの数が減少していると統計局ホームページを通じて発表した。統計局の情報によると15歳未満の子どもの数は約1665万人であり、全人口の13%にしか満たない。2011年に比べると約28万人減少している。このまま少子化が進むと一人が一人を支える肩車型社会になる可能性も十分にありえる。子ども人口の減少の一つは、育児サポートの不足が挙げられる。現在日本の親の約半数は子どもを施設に預けることができない状況である。その上今の状

況では急に育児施設を増やすことは厳しい。だが施設数が不足しているにもかかわらず、政府の主な少子化対策として平成22年に改正育児・介護休業法が施行された。しかし、変更された部分に多少不安を感じる。たとえば、パパ・ママ育児プラスという新しい制度が制定された。パパ・ママ育児プラスとは母親が育児中に父親が仕事をし、母親が仕事に復帰した大変な時期に父親が育児をする。これならば親の負担が半減されるだろう。だが、二人だけで負担を共有するには無理がある。つまり母親を父親が支える相互負担のみの問題ではない。地域ぐるみ町ぐるみで一つ一つの世帯を支えるべきだ。地域で親子を支える手段として、具体的には空き家などのフリースペースと呼ばれる場所を託児所として設けることだ。そして町内会などの小さな範囲の中で地域住民へのボランティア参加を呼びかけることが大事ではないだろうか。さらに言えば、子育ての孤独化を防ぐべきだ。ただ子どもを託児所などで預けてもらうだけでは親の精神的負担の軽減にはならない。子育てにはどうして不安が生じてしまうかが、誰にも相談できず自分一人だけで解決しようとする場合が多い。先ほど述べたよ

交通マナー改善を呼びかける

六二マナーイベント

関学生の交通マナーの向上にむけて、うちわを配布した。うちわには、事故件数などを記載している。関学生が問題の重大さを認識し、交通マナーを守ってもらいたいという思いが込められている。また、交通マナーに関するポスターを2種類作成し、学内外で掲示を行っている。



オリジナルのパーカーを着てうちわを配る

6月25日から29日にかけて、六総部二自治会による交通マナーのイベントが行われた。本イベントでは、鳴らすことを目的として行われた。中央協議会残存公認自治団体連絡協議長の古林さんは、「うちわは思っていた以上に関学生に受け取ってもらったことが嬉しかった。ポスターも貼ったばかりなので、これから関学生に見てもらえればと思います」と話した。また、今後の活動について、「まだわかっていませんが、少なくとも必要なのは、ただ漠然と保育所・託児所の充実のみを目指すのではなく、打撃策として国家は施設不足以外の取り組みとして、経済的・夫婦の相互扶助的な子育ての実現を目的として、国家の法律のみに頼るのではなく、地域社会の交流促進、町ぐるみでの子育て支援が最も大切だ。始めに述べたように約半数の子どもを親は施設に預けられないでいる。一定の見込みが見られる制度とし

うちわでアピール

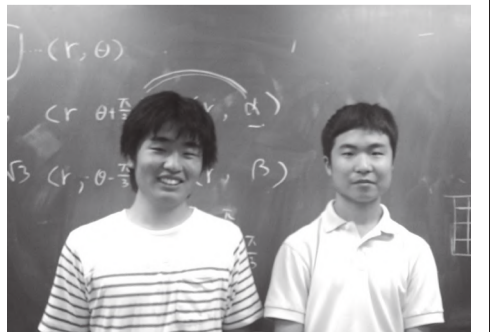
最後に、今回の交通マナーのイベントに対してコメントをもらった。「2009年から2010年の間に、西宮署内で関学生が関係している交通事故やトラブルが311件もあつたそうです。西宮署内だけでも2日に1回以上のペースで事故や問題が起きているということなんです。三田や大阪、三

数理学部快挙

高等部

本学高等部の数理学部がGoogle主催の中高生向けのオンライン科学コンテスト「Google Science Fair 2012」のアジア・オセアニア地域のファイナリストに選ばれた。コンテストは、自分たちで設定した課題を科学的な手法を持って研究するとい

うものだ。世界100か国以上、7500以上の応募があり、選考は熾烈を極めた。数理学部が設定したテーマは「正方形折り紙から作られるコップの最大容積問題」だ。内容は、正方形の折り紙を切ったり折ったりして、どのような形にすれば最も多く水を入れる容器が作れるのか、というものだ。惜しくもコンテストの最終選考には選ばれなかった数理学部だが、他にも国際的に活躍している。カナダの「Canada Wide Virtual Science Fair」



北川さん(左)と中川さん(右)

教育と文化を斬る

国際学部連続講演会

6月7日、B号館102号教室において、国際学部連続講演会が行われた。第28回目となる本講演会で「教育と文化」という演題で幅広いトピックについて触れられた。読売新聞社調査研究本部顧問、横綱審議委員会委員長、日本相撲協会外部理事なども歴任した。今回は交通マナーで完計画をきっかけに、他のマナーも守れる関学生になつてもらえればと思いま

では6年連続で「First Prize」を獲得している。また、シソガポールや韓国にも研究発表に行くことがある。現在は富山県で開かれる全国大会「全国高総文祭とやま2012」に向けて研究をしたためである。若き科学者たちの今後の活躍に期待したい。

様々な問題の指摘

では、男性の育児休暇を促すことが目的であるイクメンプロジェクトのような比較的的地域的な政策も展開している。だが、全体的に見ると国家の政策にも限度がある。すべての親の負担を軽減することは現状では困難だ。そこで地域住民が育児相談、一時託児所などの子育てを支援するボランティア活動をし、一つ一つの世帯を身近な人々が支えることだ。少子化対策に最も効果を期待できる地域活動に重点を置くべきだ。そして、常に互いに近隣同士で助け合うことが重要だ。これからの少子化の動向は地域活動の有無で変化していくだろう。

で身につけることが重要であることを強調した。そして、日本人が歴史にあまり関心を持たない状況を抜本的に変化させるためにも、後半には学生との質疑応答があり、相撲界の賭博問題などについての質問には、相撲協会がシステマティックな問題をやらせていることを示唆した。経験豊かな海老沢さんによる有意義な講演会だった。

EU文化を紹介

EU週間

6月4日から8日の間、言語教育センター主催、関西大学EU情報センター副催の下でEU週間が開催された。EU週間は1994年から毎年行われていたフランス週間とドイツ週間を今年から統合したものだ。学生にフランス、ドイツの文化や歴史を知ってもらい、第二外国語を学ぶ上で理解を深めてもらう事を

目的としており、講演会や映画会、コンサートなどの多彩なイベントが開かれていた。5日には図書館ホールにて講演「フランスの学校が驚いた」「多種多様な人種が在」が開かれ、現在のフランスの教育体制、また、学生からは「フランスの学校の教育環境が驚いた」「多種多様な人種が在」を知ることができた」といった感想が寄せられた。

邁進

第35回総合関関戦

4連覇達成!!

～激戦の記録～

今年も総合関関戦が行われ、各部熱い試合が繰り広げられた。アウェイの関西大学へ乗り込んでの試合だったが、関学が見事勝利を収め、4連覇を飾った。各試合の記録を綴る。

相撲

6月16日、新凱風館相撲道場に相撲部の試合が行われた。団体戦と個人戦が行われ、関関戦の勝敗が決まる団体戦では3対0で関学が関大に圧勝。力の差を見せつける結果となった。

試合前に両校の応援団がエールを交わすと、会場は熱気に包まれた。一回戦と二回戦は同じく3-0となり関学の快勝。三回戦では関大に一步譲り2-1となったものの、関学は勝利を取めた。

個人戦においても、一位から三位を関学勢が占めるという活躍をみせた。個人戦三位となった大西貴文さん(文・2)は「普段は公式戦では勝てなかったのですが、関関戦で初めて勝ち進めて嬉しかったです。努力してきたよかったです。」とコメントした。8月の個人体



個人戦においても、一位から三位を関学勢が占めるという活躍をみせた。個人戦三位となった大西貴文さん(文・2)は「普段は公式戦では勝てなかったのですが、関関戦で初めて勝ち進めて嬉しかったです。努力してきたよかったです。」とコメントした。8月の個人体

重別選手権、11月のインカレに向けて稽古を重ねる相撲部の今後の活躍に期待したい。

ラグビー

ラグビーの試合は6月16日中央グラウンドで雨の中行われた。まずは関大がトライを決め、7点を先制した。しかし、20分後に関学もトライを決めて7点を入

れ、前半は7-7の同点で終了した。後半は関大のペナルティゴールから始まり、3点を入れられる。だが20分後に関学はトライを決め逆転する。その後、両チームともトライを1回ずつ決め、関学のリードが続いたが、後半37分に関大にペナルティキックを決められ、19-20の惜敗となった。



試合後、女子リーダー

合気道

6月16日に関西大学東体育館第2体育室で合気道の演武が行われた。毎年両校の演武は執り行われており、今年も新たな

部員たちを迎えて取り組まれた。合気道は演武なので、勝ち負けはない。お互いが自分たちの練習してき

た型を実践し、今までの努力の成果を披露する。会場に集まると関大部員全員が気合の入った挨拶で、関学部員を出迎えた。それぞれの型は見事なもので、実戦でも活用できるのではないかと思えるほどの切れ味だった。会場中が静かに見守る中

にけたたましい受け身の音が響き渡り、緊張感のある演武だった。新入生たちは、笑いを交えたコメント風の演武をし、会場は笑いの渦に巻き込まれ大盛況だった。

主将の稗田大純(法・4)に、試合後に話を聞いた。「努力の積み重ねは全部出せたと思う」と全力を出し切った喜びを伝えてくれた。また、関大の部員たちについて「全員が練習を欠かさず万全の状態

に努めていくという。最高級の演武ができるように努めていくという。

音の響き渡り、緊張感のある演武だった。新入生たちは、笑いを交えたコメント風の演武をし、会場は笑いの渦に巻き込まれ大盛況だった。

主将の稗田大純(法・4)に、試合後に話を聞いた。「努力の積み重ねは全部出せたと思う」と全力を出し切った喜びを伝えてくれた。また、関大の部員たちについて「全員が練習を欠かさず万全の状態

アイスホッケー

6月15日にアイスホッケー部の試合は高槻キャンパスアイスアリーナにて行われた。試合会場にはアイスホッケーの試合前に行われた野球部の部員が応援に駆けつき、アウェーとは思えない盛り上がりであった。

アイスホッケーは1ピリオド20分の計3ピリオドで行なわれる。「氷上の格闘技」と言われるように序盤から激しい攻防

であった。1ピリオドは関学ペースで進んだ。開始4分で関学が先制点を決め、ゲームは有利に運ばれた。関大側はリズムに乗れず、何回もシュートを放つが、ゴールを決めることができなかった。

2ピリオドは関大ペースで試合が運ばれた。関学が点を決めそうなきしい場面も何回もあったが、関大に5点もゴールを決められた。

3ピリオドは完全に関大ペースである。立て続けに4点ゴールを決められた。結果は1-9で関学は大敗した。

山本さんは「次の代を担っていることを痛感すると同時に、責任感と向上心を再認識できた意義のある試合だったと思う。今年の雪辱を晴らすべく、後輩の育成に力を入

洋弓

6月16日、洋弓部の試合が養心館アーチェリー場で行われた。お互いに一歩も譲らない試合が繰り広げられたが、結果は関学が敗北した。

の山本愛(社・3)さんは「先輩方が引退されて、今回の関関戦が新幹部の初試合。今後の試合に向けて良い皮切りができるように、また永遠のライバルである関大に勝つて結果を残したかった」と語った。今回の関関戦では、思い通りの結果は残せなかったかもしれない。しかし、日々練習を重ね、部員全員が邁進し続けた姿は試合の端々で見られた。

山本さんは「次の代を担っていることを痛感すると同時に、責任感と向上心を再認識できた意義のある試合だったと思う。今年の雪辱を晴らすべく、後輩の育成に力を入

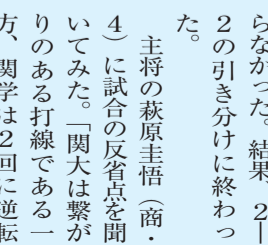
入れ、チーム力を高めて次こそは勝てるように邁進していききたい」と意気込みを見せた。



硬式野球

硬式野球部の試合が6月15日、関西大学高槻キャンパス第3グラウンドにて行われた。初回関大に先制点を取られたが、直後の二回に逆転2点本塁打で逆転した。その後関学側の力投で6回まで硬直状態が続いた。関大に1点取られた後、関学はランナー2塁のチャンスであったが、惜しくも点には繋が

らなかった。結果、2-2の引き分けに終わった。主将の萩原圭悟(商・4)に試合の反省点を聞いてみた。「関大は繋がりのある打線である一方、関学は2回に逆転ツーランを打った選手も、投手も下級生だ。下級生に支えられていては良くない」と語る。その後の目標について尋ねると、「8回にもう少し打線が続けば勝てる試合であった。秋までに練習をこなし、秋季リーグ戦で去年以上の成績を残したい」と関学を代表する硬式野球部のさらなる活躍を望む。



望む。



K.G. studio

今回は「部室だより」と「K.G.Worker」をお送りします。「部室だより」はフリーペーパー Siesta を発行する広告研究会です。「K.G.Worker」では学生の就職事情に携わるキャリア支援課の方にお話を聞きました。

部室だより vol.4 広告研究会

広告研究会	
員年	部創
日活	活動
場所	活動
連絡先	連絡

第4回目は、広告研究会でSiestaの編集長としている楠原有紀子さん(以下楠)と対談しました。お互いの活動について、やりがいや大変さを語り合いました。

新：色んな局があるんですね！すごく本格的な感じがします。そういえば、このあいだママ前でCM見ただけ、かなりクオリティ高かったです(笑) 思わず立ち止まって見てしまいました。よくママ前にSiestaも置いてますよね？

楠：あ、置いていますね。ぜひもらっていつてくださーい(笑) 新：ぜひもらいます！(笑) 楠原さんはSiesta作ってる出版局ですか？何人くらいいるんですか？

楠：今12人くらい。みんな楽しんでSiesta作ってます。新：10人前後くらいだと部員同士の関わりも深くなりませんか？

楠：そうですね。局から仲良くなくて、広研全体として仲良くなっていく感じかな。新：仲良くやれたら楽しいですね！...そういえば、Siesta作ってる出版局の4つですか？

楠：学祭で行う広研のイベントの企画の中心になる事務局と、外注もらってパンフレットやポスター作ったり、フライヤーデザインしたり展示会を行ったりする制作局、CMを作ってるママ前で流してる映像局、Siesta作ってる出版局の4つですね。

新：色んな局があるんですね！すごく本格的な感じがします。そういえば、このあいだママ前でCM見ただけ、かなりクオリティ高かったです(笑) 思わず立ち止まって見てしまいました。よくママ前にSiestaも置いてますよね？

楠：あ、置いていますね。ぜひもらっていつてくださーい(笑) 新：ぜひもらいます！(笑) 楠原さんはSiesta作ってる出版局ですか？何人くらいいるんですか？

K.G. Worker #3. キャリア支援課主任 弓山大輔さん



就職活動といえばキャリアアセンターが思い浮かぶだろう。今回は学生の就職事情なども踏まえ、キャリア支援課の弓山大輔さんにインタビューした。

ええるような機会を提供する業務である。キャリア支援の中には正課授業として提供されているものもある。関西学院に入職した後、学生課で勤務し、2003年にキャリアアセンターに異動になった。弓山さんは「将来の展望や、可能性を自ら狭めて欲しくない。そのため社会や企業について知ってもらい、少しでも自らの将来に対して考えをめぐらせて欲しい。その材料となるものはいくらでも

提供する」と語る。大学時代は特に何もしていないと言いが、香川県出身である弓山さんは寮生活をしてきた。様々な年齢、様々なエリア出身の人とプライベートで仲間作りを行ったことが、結果として自分磨きに繋がったと言います。寮生活の中では、どんな世代の人とも付き合おうという意識が生まれた。また経済学部で社会思想史を専攻し、卒業論文について

ソコで編集して形にしていくんですけど、それがまたまた大変で(笑)でも自分たちが一から考えたものが形になるのは楽しいし、面白かったとかよかったですって言ってくれるのがすごく嬉しいですね。

楠：そうですね。アポ取りから始まるので、やっぱり思うようにいかないことは多々ありますね。新：相手もお忙しいですもんね。楠：でもご協力してくれる有名人の方は、お忙しいにもかかわらず、お話を聞けることが楽しくて、良い刺激になってます。すごく貴重な体験をさせてもらってるなあと思います。

新：色んなお話とか聞かせてもらえますもんね。楠：そうですね。有名人の方も学生から取材を受ける機会がめずらしいからって状況について聞いてみた。2011年度本学卒業者の就職決定率(就職希望者に占める決定者の比率)は96.0%である。また、就職率(全卒業生のうち進学決定者なども含めて明確に進路を決定して卒業した学生の比率)では、データが公表されている2010年度卒業生まで、4000人以上の総合私立大学において4年連続トップである。全体では良い数字といえるが、個別の学生と向き合おうき合うのが大切であり、その結果が数字に繋がっていると語る。

「将来の展望や、可能性を自ら狭めて欲しくない。そのため社会や企業について知ってもらい、少しでも自らの将来に対して考えをめぐらせて欲しい。その材料となるものはいくらでも

提供する」と語る。大学時代は特に何もしていないと言いが、香川県出身である弓山さんは寮生活をしてきた。様々な年齢、様々なエリア出身の人とプライベートで仲間作りを行ったことが、結果として自分磨きに繋がったと言います。寮生活の中では、どんな世代の人とも付き合おうという意識が生まれた。また経済学部で社会思想史を専攻し、卒業論文について

ソコで編集して形にしていくんですけど、それがまたまた大変で(笑)でも自分たちが一から考えたものが形になるのは楽しいし、面白かったとかよかったですって言ってくれるのがすごく嬉しいですね。

楠：そうですね。アポ取りから始まるので、やっぱり思うようにいかないことは多々ありますね。新：相手もお忙しいですもんね。楠：でもご協力してくれる有名人の方は、お忙しいにもかかわらず、お話を聞けることが楽しくて、良い刺激になってます。すごく貴重な体験をさせてもらってるなあと思います。

新：色んなお話とか聞かせてもらえますもんね。楠：そうですね。有名人の方も学生から取材を受ける機会がめずらしいからって状況について聞いてみた。2011年度本学卒業者の就職決定率(就職希望者に占める決定者の比率)は96.0%である。また、就職率(全卒業生のうち進学決定者なども含めて明確に進路を決定して卒業した学生の比率)では、データが公表されている2010年度卒業生まで、4000人以上の総合私立大学において4年連続トップである。全体では良い数字といえるが、個別の学生と向き合おうき合うのが大切であり、その結果が数字に繋がっていると語る。

私達は毎日、田圃や畑に出掛けて働いていた。そのせいか、全身全身真っ黒に日に焼けていた。じいちゃんが作る野菜や果物は、形は不揃いだけど、スーパーに売ってるものよりも瑞々しくて美味しかった。

力持ちで、豪快に笑うじいちゃんは、まるで太陽みたいに元気で、私はそんなじいちゃんのことを大好きだった。私はじいちゃんの作る桃が大好きで、この時季になるとじいちゃんは、幼かった私を桃畑に連れて行ってくれた。小さかった私は、お手伝いすら出来なくて、広い桃畑の中を走りまわったり、遊んだりしていた。普段見ないような草花や虫なんかを見つけると、「これ何？」と、すぐにじいちゃんに聞きに行っていた。私が行くと、じいちゃんは作業の手を止めて、丁寧に答えてくれた。

「香りがあたりふわりと広がった。私はじいちゃんからその桃を受け取ると、いつもそのまま丸齧りしていた。齧りつくと同時に、果汁が口の中に広がって、ちょうどよく熟された実ほろろとしていて甘かった。私は果汁で手や口の周りがべとべとになっているのも構わず、「もう一個」と、じいちゃんにねだっていた。家返って冷やした方が、美味しいぞ」

「家返って冷やした方が、美味しいぞ」 じいちゃんはその言った後、私は冷蔵庫で冷やした桃よりも、太陽の下でじいちゃんと食べる採れたての桃の方が好きだった。二個目を「美味しい美味しい」と言いながら食べる私を見て、じいちゃんは嬉しそうに笑っていた。私は仏壇を拜んだ後、桃の缶詰を取った。台所に持って行って、缶切りで封を開ける。中から橙色の桃が出てきた。一つとって食べると、シロップの甘さがした。こんな桃じゃない。こんな桃なんて思えない。じいちゃんが作った桃でないかと、桃じゃない。もう私はあの桃も食べれないし、じいちゃんも笑顔をみれない。この先、ずっとそう。喉の奥から何かが入り込んできた。じいちゃんは死んじゃったんだ。私の中に、そのことがずっと入ってきて、私はわんわん泣いた。



楠原有紀子さん(社・3)

文芸部 読み切り小説 『夏、じいちゃんの桃』 高頼

仏壇を拜んでから、供物に桃がないことに気づいた。この時季になれば、いつもは必ずあるはずなのに。何故か缶詰の黄桃がそこにあった。ああそっか、今まではじいちゃんが桃を採りに行ってたからか。桃がない理由がわかったと同時に、今自分がこうして仏壇を拜んでいるのは、じいちゃんのためだっただけで、ちょっと鼻の奥がツンとした。壁に掛けられてある遺影の中のじいちゃん、まだ若々しくて元気そうで、そんなじいちゃんが一カ月前に死んじゃったなんて、私は未だに実感できなかった。

じいちゃんは夏がよく似合う人だった。八月のとても暑い日に生まれたじいちゃんは、毎日毎日、田圃や畑に出掛けて働いていた。そのせいか、全身全身真っ黒に日に焼けていた。じいちゃんが作る野菜や果物は、形は不揃いだけど、スーパーに売ってるものよりも瑞々しくて美味しかった。

力持ちで、豪快に笑うじいちゃんは、まるで太陽みたいに元気で、私はそんなじいちゃんのことを大好きだった。私はじいちゃんの作る桃が大好きで、この時季になるとじいちゃんは、幼かった私を桃畑に連れて行ってくれた。小さかった私は、お手伝いすら出来なくて、広い桃畑の中を走りまわったり、遊んだりしていた。普段見ないような草花や虫なんかを見つけると、「これ何？」と、すぐにじいちゃんに聞きに行っていた。私が行くと、じいちゃんは作業の手を止めて、丁寧に答えてくれた。

「香りがあたりふわりと広がった。私はじいちゃんからその桃を受け取ると、いつもそのまま丸齧りしていた。齧りつくと同時に、果汁が口の中に広がって、ちょうどよく熟された実ほろろとしていて甘かった。私は果汁で手や口の周りがべとべとになっているのも構わず、「もう一個」と、じいちゃんにねだっていた。家返って冷やした方が、美味しいぞ」

「家返って冷やした方が、美味しいぞ」 じいちゃんはその言った後、私は冷蔵庫で冷やした桃よりも、太陽の下でじいちゃんと食べる採れたての桃の方が好きだった。二個目を「美味しい美味しい」と言いながら食べる私を見て、じいちゃんは嬉しそうに笑っていた。私は仏壇を拜んだ後、桃の缶詰を取った。台所に持って行って、缶切りで封を開ける。中から橙色の桃が出てきた。一つとって食べると、シロップの甘さがした。こんな桃じゃない。こんな桃なんて思えない。じいちゃんが作った桃でないかと、桃じゃない。もう私はあの桃も食べれないし、じいちゃんも笑顔をみれない。この先、ずっとそう。喉の奥から何かが入り込んできた。じいちゃんは死んじゃったんだ。私の中に、そのことがずっと入ってきて、私はわんわん泣いた。

私達は毎日、田圃や畑に出掛けて働いていた。そのせいか、全身全身真っ黒に日に焼けていた。じいちゃんが作る野菜や果物は、形は不揃いだけど、スーパーに売ってるものよりも瑞々しくて美味しかった。

力持ちで、豪快に笑うじいちゃんは、まるで太陽みたいに元気で、私はそんなじいちゃんのことを大好きだった。私はじいちゃんの作る桃が大好きで、この時季になるとじいちゃんは、幼かった私を桃畑に連れて行ってくれた。小さかった私は、お手伝いすら出来なくて、広い桃畑の中を走りまわったり、遊んだりしていた。普段見ないような草花や虫なんかを見つけると、「これ何？」と、すぐにじいちゃんに聞きに行っていた。私が行くと、じいちゃんは作業の手を止めて、丁寧に答えてくれた。

My Favorite スマートフォン

関学生100人アンケート実施

通学中や休み時間、周りを見渡せば必ず誰かがスマートフォンを操作しています。二年前にも特集を組みましたが、その当時から機能は格段に進化し、ここ数年でぐんと普及率を上げています。

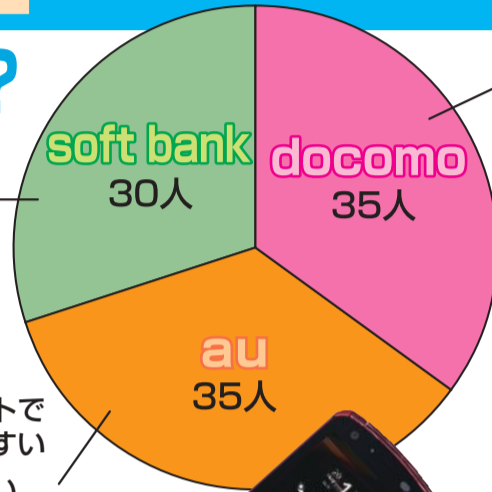
あなたは自分のスマートフォンを自分らしく使えていますか？大学生生活の必須アイテムとなりつつあるスマートフォンについて、関学生100人にアンケートを実施しました!!

今回のアンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

Q1、今持っている機種は？

機種はdocomoとauがそれぞれ35人、softbankが30人と僅差の結果に。softbankでは電波状況が嘆かれるが、その点docomoは電波に関して全く問題なし。G号館でも楽々入る。しかし、docomoはカバーが少ないのが難点。softbankやauを持っている人は気分や好みによってカバーを変えることができるという楽しみがある。また、3機種共通して多かった意見が、持ちやすい、デザインが好み、といったものだ。実際の大きさを言うと比較的docomoは大きめで、softbankは小さめ。auは2機種の間サイズといったところ。結局は使ううちに自分の手に馴染んできて、自分サイズになるように感じるのだろうか。

- ・カバー種類が豊富
- ・デザインがおしゃれ
- ・アプリが豊富



- ・コンパクトで操作しやすい
- ・持ちやすい
- ・デザインがかわいい



- ・画質が良い
- ・電波が入りやすい
- ・画面が大きい

スマホに変えてから楽しみが増えたけれど、今までの携帯電話と使い勝手が違って戸惑ったことがあるのも事実。日々スマホの機能も改良されてはいるが、まだまだ問題点も残る。スマホを活用している人だからこそ分かり合える良いところ・悪いところを聞いてみた。長所の数だけ短所もあるようだ。

Q2、おすすめアプリは？

スマホの楽しみといえば何と言ってもアプリである。携帯電話よりも充実しているのが今まであまりアプリを利用しなかったという人も、スマホに変えてハマった人も少なくないようだ。アンケート結果では最も利用者が多かったのはダントツでLINEである。続いてナメコ栽培のほのほのゲーム。すごくない時間割、Simple time tableなど便利な時間割機能のアプリも多く見られた。豊富なアプリの中から自分のお気に入りアプリを見つけたら、今よりもっとスマホで楽しくなるはず!!



KG portal
時間割、休講・補講・教室変更の確認など学生生活に欠かせない情報を幅広くチェックできる☆広いキャンパスで迷ったときには学内マップを活用しよう。



スマホを持っている人なら、ダウンロードしていますよね!?

無料で気軽にメッセージをやり取りできることから、爆発的な人気を誇っています。



なめこ栽培
もはやみなさんお馴染みの、世界中で大ヒットしている人気アプリ。なめこの栽培から収穫までを楽しむ育成ゲームだ。なめこを刈り取るとスッキリしますよね!

編集後記
スマホ特集は2年前にも本紙で扱いました。そのときはまだ持っていない人は多くありませんでした。まさか2年後にこんな普及して誰もが持つようになるとは思っていませんでした。それだけスマホの機能も進歩したのでしょうか。充実した機能には意味があると思えます。私たちの生活に便利さと楽しみをもたらしてくださるのだと思います。ただ使いこなすまでは少し厄介かもしれません(笑)。数年後、さらに進歩したスマホが登場したとき3度目のスマホ特集を組ませていただきますと思います。



語学のクラスやゼミでグループを作ると気軽に連絡できて便利ですよ (*^_^*)

日刊くまぬりえ
毎回、平日に下絵が更新されて、誰でも塗り絵を楽しめる。可愛いくまのイラストに癒されること間違いなし!

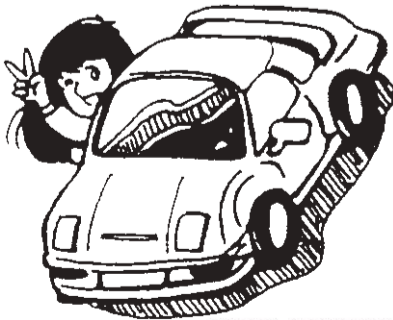


Q3、良い所・悪い所は？

- 〈良い所〉**
- ・機能が高くて何でもできる。
 - ・パソコンのホームページを見れる。
 - ・アプリが充実している。
- 〈悪い所〉**
- ・文字が打ちにくく、打ち間違いが多い。
 - ・充電がなくなりやすい。
 - ・操作しづらい。

関学・神戸三田キャンパスから 一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに 楽々教習!



大学生協 サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは お気軽にお電話で

TEL三田(079) 562-2995 (代)

大型科・普通科 (MT・AT)・大型二輪科
普通二輪科 (小型限定)・審査科 (普通・自動二輪)



公安委員会指定技能試験免除
三田自動車学院